

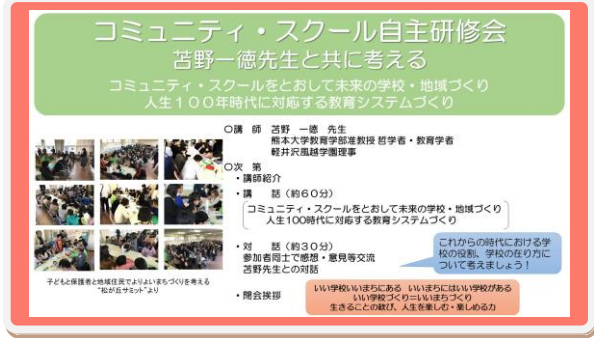


明石市コミュニティ・スクールだより
 人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU
 明石市教育委員会事務局学校教育課

コミュニティ・スクール自主研修会が開催されました



2月14日(金)に苫野一徳先生をお招きしてのコミュニティ・スクール自主研修会が開催されました。明石市内だけでなく、県外・県内各地から参加いただきありがとうございました。

本研修会の参加者の3割強が市民・保護者であったということは大きな意味を持っていると考えます。学校を開き、学校(教師・子ども)&保護者&地域でこれからの学校・地域づくりを考えていかなければなら

ない時代にきていると改めて感じました。

苫野先生のお話は、苫野先生の専門である哲学的な切り口として「公教育は、市民社会(民主主義)の最大の土台であり、人類数万年の歴史における革命的発明である」といった投げかけから、「そもそも“学校”とは何か?」「そもそも教育(学校・教師)は何のために存在しているのか?」といった教育の根本にもう一度立ち返って考えることの大切さのお話をしていただきながら、「すべての子どもに『自由の相互承認』の感度を育むことを土台に、『自由』に生きるために力を育む」ということをベースに「公教育の構造転換」として次のようなこととお話していただきました。

◎150年間変わらない学校システム

みんな同じことを、同じペースで、同じようなやり方で、同質性の高い学年学級制の中で、出来合いの答えを勉強する、ベルトコンベヤー型のシステム

◎「公教育の構造転換」へ

- ①「学びの個別化・協同化・プロジェクト化の融合」
- ②学校を、もっと多様性が「ごちゃまぜのラーニングセンター」に
コミュニティ・スクールの可能性



◎学びの「個別化」と「協同化」の融合

- ・自分のペースで、自分に合った学び方や場所で、必要に応じて必要な人の力を借りながら、人に力を貸しながら、時に学年を超えて
- 「ゆるやかな協同性」に支えられた「個の学び」が尊重される

◎学びの個別化

- ・人それぞれ、学びのペース、興味・関心。合った学び方、合った教材、心地のいい学習空間などは異なっている。
- これをできるだけ個別化する!
- (時間割の個別化、教材の選択の幅を広げる、学習空間を自分たちで作る、etc)

◎学びの協同化

- ・「個別化」と「孤立化」は違う。「ゆるやかな協同性」に支えられた「個の学び」を実現。
- ・必要に応じて、人に力を借りられる、人に力を貸せる環境づくり。
- ・学年を超えた学び合いが可能になる環境づくり。

◎探究をカリキュラムの中核に

・自分たちなりの問いを立て、自分たちなりの仕方で、
自分たちの答えにたどり着く「探求型の学び」
「答えを持っている教師」から、「共同探究者」「探求支援者」としての教師へ
こうした学びの構造転換の必要性について熱く語っていただきながら、すでに
こうした学びの構造転換は始まっており、



「まずは知ることから。人間が作ったシステムなのだから人間が変えられる。」

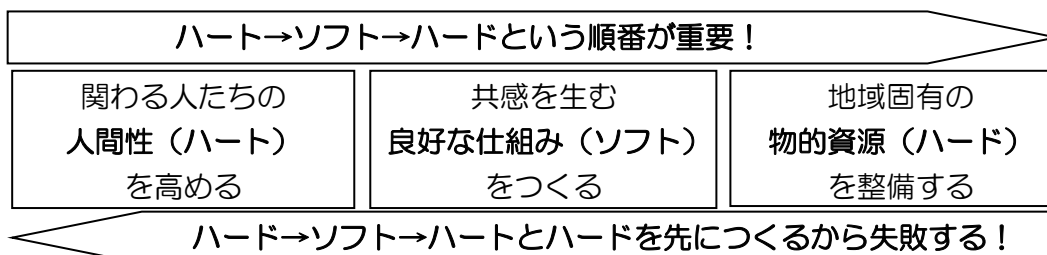
の言葉で締めくくっていただきました。

「人間が作ったシステムなのだから人間が変えられる。」、そのためには、「そもそも“学校”とは何か?」「そもそも教育（学校・教師）は何のために存在しているのか?」といったことを校内、そして子どもと保護者と地域の皆さんと対話を始めていくことが、遠回りのようで一番近道なのではないかと思いました。

苫野先生のお話を聞いた翌日にウィズあかしで明石コミュニティ創造協会主催のジチラボプラスという地域自治を考える研修会が開催されました。その中でゲストレクチャーの斎藤主税（NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンター理事・事務局長）先生から次のような話をお聞きしました。

◎これまでとこれからは違う

- ・これからの地域づくりは、今までの延長ではなく、これからの時代に即した進化が必要だ！
- ・住民自治の深化・再構築は住民側の意識改革から！
- ・大切なのは自分たちで考え、実行するという住民自治の再構築！
- ・住民同士の対話の場を設ける！
- ・現状をリアルに気づき、それが“ワガゴト”になり、アクションにつながっていく！
- ・「地域づくりを進める上での基本となる3要素」



・この世に生き残る生き物は、最も力の強いものか。そうではない。
最も頭のいいものか。そうではない。それは、変化に対応できる生き物だ。（ダーウィン）
斎藤先生のお話を聞きながら前日に聞いた苫野先生のお話が大きく重なってきました。
苫野先生のお話と斎藤先生のお話とハートを高めていく対話から始めないといけないのだなと強く感じました。ハードが先にあるからやらされ感なんだと思います。

※今回の研修会について「感想等を交流する会」のようなものができたらなと考えています。
決まり次第ご連絡させていただきます。

コミュニティ・スクール ZOOM 研修会（30分間） 2月25日（火） 16:00~16:30
Part3「では何から始めたら?」

こんな時にも使えるのでは：学級閉鎖時の子どもとのコミュニケーションに
他校との打ち合わせ etc,

※ネット環境は各自でご用意していただくことになります。

- ①App Store や Google Play から Zoom Cloud Meetings をインストール（無料）。
 - ②ミーティングの開始時間にミーティング ID とパスワードを入力して参加。
- ※参加してみようかなと思われる方は a_kitamoto@city.akashi.lg.jp までメールで連絡してください。
(文責 北本)